



E 第25回北上川流域交流 Eボート大会

第25回北上川流域交流Eボート大会が9月1日（日）に開催されました。北上川流域は、川が物資輸送の中心だった舟運時代は、各地の港町が流域の交流と連携の拠点として独自の文化圏を創り上げてきました

たが、交通手段の変遷と共に水辺は生活から遠い存在となりました。しかし、近年は物質的な豊かさから心のゆとりを志向する価値観の変化を背景に、豊かな人間性の回復を求める親水事業が各地で展開され、交流を主としたEボート大会も全国各地で行われています。

この大会は、洪水の常襲地帯だった歴史も踏まえて「川との共生」を合言葉に1995年から四半世紀にわたって続く市の一大イベントです。日常的な河川空間の多面的利用と流域の交流及び連携、地域の活性化に資する親水活動として地域に定着したイベントとなっています。



Eボートの「E」には、

- Exchange（交流）
- Environment（環境）
- Earth（地球）
- Epoch-making（重要）
- Ecology（生態）
- Energy（エネルギー）
- Education（教育）

「いいボート」などの意味があります。



48チームがエントリーしました。



太陽が照りつける絶好のボート日和の中、参加チームのプライドをかけたレースが行われました。

同日のイベントでは、消防広場、競輪体験コーナー、わんこ餅体験、朝にはバルーン搭乗体験など子どもから大人まで楽しく遊べる体験がありました。



消防広場
心肺蘇生体験などありました。



2019 わんこ餅体験
餅を飲み込むのに苦戦をしていました。

編集後記

一関出張所からも参加し、48チーム中38位という順位でした。結果はともあれ、秋晴れの中、みんなでボートを漕ぐのは気持ちいいものです！来年、参加してみませんか？（と）